

語彙力がないまま社会人になってしまった人へ

# 語彙力

が  
な  
い  
ま  
ま  
社  
会  
人  
に  
な  
っ  
て  
し  
ま  
っ  
た  
人  
へ

知性と教養が  
話のしづみに  
表れる

「相対的」「代替」「乖離」「付度」…など  
「この人、できる！」と思われる  
51の言葉をわかりやすく紹介。

仕事ですぐに使える  
大人の言葉づかい

大東文化大学文学部准教授

山口 諤司

Yoji Yamaguchi

発売日: 2017年2月25日

出版: ワニブックス

著者: 山口 諤司

ページ: 185

PDF

社会人としてのレベルは「語彙力」で測られる現実がある

稚拙な表現や、思慮の浅そうな表現をしたり、  
自分の中にある語彙の量が不足していれば、  
社会人としてのレベルを低く見積もられてしまいます。

仕事の力量があるかないかということ以前に、  
言葉の理解力や、使う言葉といった語彙力で  
ある程度あなたの評価が決まってしまうということです。

本書では、社会人としての評価を上げ、  
キャリア形成でつまづかない、軽く扱われないための  
「できる人が物事を理解するために押さえている語彙」  
「知性と教養を感じさせる語彙」をご紹介します。

相対的(そうたいてき)、代替(だいたい)、乖離(かいり)、忖度(そんたく)、  
拝承(はいしょう)、概ね(おおむね)、的を射る(まとをいる)、  
尽力(じんりょく)、汎用(はんよう)、コモディティ、機知に富む(きちにとむ)  
...などの51語をご紹介します。

知性と教養は話のはしばしに表れる

「代替案を考えます」というのを、  
「だいがえあんを考えます」と言ってしまうと、  
知性を疑われ、仕事相手は不安になってしまいます。

人をほめるときでも、「頭がいいですね」では、  
稚拙な印象を与えてしまうので  
「機知に富む」などに言い換えたほうがいいのです。

さらに、仕事相手が話している言葉を理解できなければ、  
それは空気として伝わり、自分の評価を下げてしまいます。

言語のスペシャリストであるノーマン・ルイスは  
名著『Word Power Made Easy(語彙力を身につけるのは簡単だ)』で、  
本書で学習すれば、「自信を持って話し、書けるようになる」  
「効率のいい効果的な言葉の読み方が身につく」  
「理解が早くなる」「交際範囲が広がる」「収入アップにつながる」  
といったことを述べています。

「最低限知っておけばいい51語」をおもしろく身につけよう！

本書では、「この人、できる！」と思われる語彙を  
成り立ちや歴史から、おもしろく身につくよう書きました。  
就職活動をしている学生から、新入社員、ベテラン社員、  
経営陣の人々まで、役立つ内容を心がけました。

「知性と教養を感じさせる語彙」  
「会議、プレゼン、交渉、打ち合わせをうまく進めている、  
伝え方や説明がうまい人が使っている語彙」

「理解力を高めるために押さえておくべき語彙」  
「よく聞くけどしっかり意味がわかっている人が少ない語彙」  
「心の状態をうまく表し、伝える語彙」  
「同音異義語や、地位がある人や年配の人が使う語彙」  
「人を動かす魅力的な語彙」...  
「どのようなことをすれば、語彙力をもっと高められるか」  
ということまで紹介しました。  
ぜひ、一語でも身につけて、使いこなしてみてください。

#### 【著者情報】

山口謠司(やまぐち・ようじ)

大東文化大学文学部准教授。1963年長崎県佐世保市生まれ。博士。  
大東文化大学大学院、フランス国立高等研究院大学院に学ぶ。  
ケンブリッジ大学東洋学部共同研究員を経て現職。専門は、書誌学、音韻学、文献学。  
1989年よりイギリス、ケンブリッジ大学東洋学部を本部に置いて行なった『欧州所在日本  
古典籍総目録』編纂の調査のために渡英。  
以後、10年に及んで、スウェーデン、デンマーク、ドイツ、ベルギー、イタリア、フランス  
の各国図書館に所蔵される日本の古典籍の調査を行なう。  
またその間、フランス国立社会科学高等研究院大学院博士課程に在学し、  
中国唐代漢字音韻の研究を行ない、敦煌出土の文献をパリ国立国会図書館で調査する。  
文部科学省科学研究費助成を受け、第一次世界大戦後に行われた昭和天皇（当時は皇太子）  
によるベルギー王国、  
ルヴァン大学に寄贈された日本古典籍についての研究なども行なっている。  
広い視点から、わかりやすく話をするスタイルで、テレビやラジオの出演も多く、  
NHK文化センター、朝日カルチャーセンター、中日文化センターなどでも定期的に講演や講  
座を開いている。  
ベストセラー『日本語の奇跡』『ん』『日本語通』（新潮社）、『てんてん』（KADOKAW  
A）、  
『日本語にとってカタカナとは何か』（河出書房新社）、『日本語を作った男』（集英社）  
など著書多数。

<http://yep.pm/qgOhXSod5/BRZvf6fx7.pdf.rar>